日本公衆衛生学会　専門職・教育生涯学習委員会　宛

**日本公衆衛生学会 認定専門家研修 助成金 報告書**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 内容 | 備考 |
| 地方学会名 |  |  |
| 主催団体 |  |  |
| 主催責任者 氏名･所属･職位 |  |  |
| 実施期間 |  |  |
| 実施場所 |  |  |
| 目的 |  |  |
| 主な募集対象者 |  |  |
| 出席者数（うち日本公衆衛生学会会員数） | 　　　　　　　　　　　　　　人　　　　　　（　　　　　　　人） |  |
| プログラムの概要 |  |  |
| 公募演題の発表数 |  |  |
| 参加講師人数 |  |  |
| 期待される教育・実務・研究上の効果（特に公衆衛生的な効果についても記すこと） |  |  |
| 参加者の評価 （アンケートの集計結果、ヒアリングの主な意見などを記すこと） |  |  |
| 総評 |  |  |
| 提供するｅラーニング教材1の内容 |  |  |

1講演タイトル、演者(氏名･所属･職位)、基調講演･教育講演など講演等の位置づけ、教材はスライドのみか動画もか等、具体的に記載・列挙してください。ｅラーニング教材の提供は必須です。

＊記入欄は適宜拡大してご使用ください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 申請代表者(＝報告書作成責任者)2 氏名 |  |  |
| 所属・職位 |  |  |
| 認定専門家番号 |  |  |
| 連絡先(電話番号) |  |  |
| 連絡先(Eﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ) |  |  |
| 報告書 年月日(西暦) | 　　　　　　年　　　月　　　日 |  |

2申請代表者は、主催責任者、もしくはそれに準じる者であることが必要です。

＊学会の終了後1か月以内に、必ず提出してください。